

磐城時報

八廿夕 日刊 編輯人 岡田弘成 印刷所 磐城時報社 發行所 磐城時報社 廣告料 一行十四字 日金五拾錢 一月金一元 三月金三元 半年金六元 一年金十二元 郵費在內 電話 磐城二二五

野崎、若松兩氏の争ひ 調停を顧問に一任

縣參問題の幹部會 結局は若松氏か

民政黨石城支部會では既報の如く、蓋し橋梁の流失堤防の決壊等非常災害の発生を恐るるに、若松、野崎の兩縣議が互に譲所からは被害状況を調査中であつたが、平町では午後一時頃には各一先づ止んだとの風がなかつた。

道路浸水のため 自動車河中に墜落

自動車河中に墜落

平町田町野崎自動車部乗合自動車久川も増水し大久橋は流失、大車第一〇三號を志録久藏が運轉野村は床下浸水八十八戸に達し、濱町から平町に歸途玉川村大字住吉地内に差しかけた際折柄の出水で道路が浸水してゐたため進路を誤り車体が河中に墜落したが、附近消防組三十余名出動して車体を引上げた、運轉手は幸ひ無事であつた。

揉める縣參問題

石城政界の裏面 (二)

石城民政黨の縣參事會員問題は大分新聞紙上を騒がして居るが、事實騒がが大きいなつて來た。

強雨被害

石城郡地方は二十五日頃から續いた雨は二十六日午後からは豪雨となり夏井川一丈三尺、綾川一丈五尺、藤原川一丈、新川九尺、其他各河川は何れも増水氾濫の虞あり、大久村大

四倉地方 強雨被害

二十六日よりの強雨で四倉町は本町、停車場前、國道約四十間は路上二尺の出水を見向は新町志津方面は山水のため路上は激流と化し交通全く杜絶した。双葉郡久之濱町北町國道三十間は車馬の交通不能に陥り大久村大

ため被害の程度も僅少であつたが、水稲は刈入期に際して居るので品質が幾分悪くなる位で減收となるやうなことはあるまいと見られ、尚ほ各濱の漁船には被害はない模様である。

四倉町編物講習

倉女子青年會では三十日より十一月三日まで五日間四倉小學校講堂に於て編物手藝講習會を開催、講師は野木新吉氏、毎日午前九時より午後四時までである。

外 交 員 集金して逃走

群馬縣高崎市生れ當時宮城縣刈田郡白石町新町佐久間仁三郎方外交員高橋榮吉(三〇)は九月二十七日外交先きである山形縣米澤市浪江方で現金百八十圓外數軒から數百圓の集金をなしたまゝ、行衛不明になつたが、石城地方に潜伏してゐるらしいので平署に搜索方を願ひ出でた。

藥師堂で親子を救ふた 感心な女の身元 平警察署で漸やく調査 片倉製糸の佐藤とめ

既報一秋田縣岩瀬郡下町二番地に救つた感心な女の居所を調査松本シヅ(二三)が去る十一日平した處、片倉製糸會社に居る事が判明したので過般その赤木綿を同人に送つた處、今度は私親子が行衛不明の父を尋ねて各地をさまよううち仙臺市の藥師堂で錢は無し途方に暮れて共に自殺しようとして居る際、女に現金十五圓と縮緬の着物を授けられたため死を思ひ止まり、故郷に歸つたが、其後母が病死する際、救つて來たので平署では二十八日佐藤トメを呼び出し事情を聞いた處左の如き事實が判り、今時感心な少女であると驚いてゐた。尚ほ赤木綿及びニコニコ一反は平署人事相談所に寄附した。

女中と駈落

若松市旅館新館女中岩手縣水澤町佐々木榮之丞長女佐々木艶子(十八)は去る十六日投宿客なる青森市大町澤田健彦(二二)と共に行衛不明となつたが石城地方に入り込んだ形跡があるので館主東海林裕は二十六日平署に搜索方を願ひ出でた。

鷺鳥標本寄附

平機關庫機手五味洲庄次郎氏息雄一郎氏は鷺鳥の標本一個を平町小學校に寄附した。

若松から驚いて御鉢が廻つたんだらうと好事家が調べた處、縣參議渡を條件として黨から若松に千圓とか二千圓とかノシを付けた上毎月五十とか百とか向ふ二年手當をするんだと、見て來た様な噂が立つた。

若松から驚いて御鉢が廻つたんだらうと好事家が調べた處、縣參議渡を條件として黨から若松に千圓とか二千圓とかノシを付けた上毎月五十とか百とか向ふ二年手當をするんだと、見て來た様な噂が立つた。

に火傷あり刺へ中風症にかつてゐるので獨立自營を志して實家を飛出し片倉製糸會社に來る途中仙臺市に立ち寄り宮城野原の樂師堂に參詣した處親子二人の者が自殺しやうとしてゐるので同情し現金十五圓と縮緬の着物を與へたものであつた。

投宿客が

若松市旅館新館女中岩手縣水澤町佐々木榮之丞長女佐々木艶子(十八)は去る十六日投宿客なる青森市大町澤田健彦(二二)と共に行衛不明となつたが石城地方に入り込んだ形跡があるので館主東海林裕は二十六日平署に搜索方を願ひ出でた。

平機關庫機手五味洲庄次郎氏息雄一郎氏は鷺鳥の標本一個を平町小學校に寄附した。

若松から驚いて御鉢が廻つたんだらうと好事家が調べた處、縣參議渡を條件として黨から若松に千圓とか二千圓とかノシを付けた上毎月五十とか百とか向ふ二年手當をするんだと、見て來た様な噂が立つた。

若松から驚いて御鉢が廻つたんだらうと好事家が調べた處、縣參議渡を條件として黨から若松に千圓とか二千圓とかノシを付けた上毎月五十とか百とか向ふ二年手當をするんだと、見て來た様な噂が立つた。

式年遷宮奉拜並巡禮記 (三)

平消防組頭 井上茂作

消防用接手金具は全國的に之を普及し、消火の威力を示し火災損害を減少せしめ度いと考へあるを以てなり、法隆寺水道の梗概を記せば平方時百封度の水脈を必要とし、此壓力は二百三十呎の水頭に相當し放せらるゝ最高の水滴は無風状態に於ては能く百三十四尺の高さに上り、相當の風ある際の有効放射水は特に八十三尺に達する等なりと、水源は溪谷より流れて集中する場所を撰び、鐘時と稱する地点に乳母ヶ懐と云へる處の稍廣き處に堰堤を築きて溪流の水を貯溜したるものにて取水口に於ける有効水量は四十二萬立方尺二十箇の消火水流を放射し、約十六時間繼續し得る計算なり、消火栓は配水管の延長千八百五十六間地下式、地上式の二様に配置せらるゝ、此消火用水道施設の効用は申すまでもなく一朝祝融のありたる場合は必らず威力を發揮し火災損害を減少し得べし、特別保護堂造物並に國寶の維持保護の爲め盡力せられたる聖徳太子奉養會奈良縣當局、其他關係せられたる諸士に對し此際深く敬意を表し感謝するものであります、法隆寺を拜觀し奈良へ、宮内一行中麻生氏は京都へ、宮内木下兩氏と生は大阪へ、同地に於て惜別の情禁する能はざるが故に、各自分別し再會を約したり、大阪に一泊四日午後三時より京都岡崎公園會堂に於て社寺消防設備の懇談會を開催することとなしあるを以て、是非出席せよと安村京都組頭より話しあり、參考にも相考へ午後一時京都に向ふ、定刻より少し早かりし爲め公園の内外をブラブラし居

原町通信

常に高きも収入之に伴はず維持に頗る困難なりと、但水道消火栓の設けありしは嬉しかりし、フド物置の片隅に變りたるものありければ行つて見れば、四五尺程の大團扇にて昔は此團扇を以て火勢を煽ぎ火を防ぐに用ひたるものなれば、今時に洵に珍物、生其大團扇を持ち藤野氏携帶寫眞器を以て寫映したれば滑稽なる姿となりたるべけれど、藤野氏より送られたる寫眞を好個の記念として保存することとせり、公會室に於ては既に會議始まり、井上警察部長議長席に就き席にありし、員數約三十名以上、主たる顔振れは消防關係者、警察、市役所員等にて議案は古寺社防火課備調査と題し、京都府保安課提出皇宮警察官も臨席しあり

貸金を苦に悩み 豪農獵銃で自殺

相馬郡太田村中太田宇合野草堀川七郎右衛門(五二)は同村屈指の豪農にして現に村會議員、縣社太田神社氏子總代、相双産馬組合、原町競馬理事の名譽職を兼ね、原町地に信用薄からざりしも過般來より強度の神經衰弱に罹り家人も注意怠らざりしが二十

小高町の賭博狩

馬郡小高町にては昨今盛んに賭博開帳ある事を其筋にて探知され廿三日同町岡田通の料理店竹の屋にて開帳中、草野佐藤の兩巡査に踏込まれ一網打盡に捕縛された。

相高女子チーム出發

治神宮競技會も近づいたので縣立相馬中村高等女學校にて過般來より猛練習を爲し過日仙臺で行はれた東奥羽代表の豫選會に見事東北の強チー

貸家案内

白銀町	料理店	八十圓
同	旅館向	二十圓
同	商店向	八圓
同	勤人向	八圓
柳町	同	七圓
舊城跡	同	五圓五十錢
仲間町	同	四圓五十錢
同	同	四圓五十錢
五丁目	同	金五圓
白銀町	同	金五圓

四倉産婆總會

警察署管内三町四ヶ村の産婆業組合總會は二十七日午前九時より同署樓上に開催した。

原町の秋市

町の秋市は一昨年より開市し本年十一月十五日より三日間開市する筈なるが本年は恰も三週年に相當する爲め余興として地方民謡、女角力、電氣人形、活動寫眞、新派演劇、大煙火等ありて大いに賑ふ事であらう。

二十三夜詣

恰も舊曆廿三日に相當するの石神村泉韻寺に安置しある廿三夜佛に參詣する老若女子多數あつた。

貸家案内

白銀町	料理店	八十圓
同	旅館向	二十圓
同	商店向	八圓
同	勤人向	八圓
柳町	同	七圓
舊城跡	同	五圓五十錢
仲間町	同	四圓五十錢
同	同	四圓五十錢
五丁目	同	金五圓
白銀町	同	金五圓

賣地

商店向宅地 地賣
好間村大字上好間字忽滑六十一、一
間口十一間半奥行八間九十一、二坪
隣道に沿ひ好間郵便局眞西隣、好間尋常高等小學校に近し、古河鐵業株式會社好間寮坑前好間軌道停留所隣に近し、古河會社は目下數百萬圓を投じ新斜坑開鑿中、近く着炭すれば人夫入込多々大有望地
地主 牛久

榮共ト存共△
融金ノ易調△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意誠△
會商盡無城磐

江戶前季節 鳥松 たけ 鰻
平町南町平館隣り
電話四二四番

毎度御ひいきに預りまして有難ふ御座います。皆様御機嫌よく御過し遊ばされ誠に悦ばしく存じます。扱て弊店儀昨今の景氣に鑑み人氣回復の策として再び開業當時の職人を招き本日より再び開業天ふら。カキフライを始めました。從來より一層勉強致します。一度御試食の上倍舊の御引立を御願ひ申上ます。
平田町 電話四番 やぶそば

開業廿年紀念出張特別賣出し
期間 自十月二十七日 七日間 至十一月二日
醬油、清酒大廉賣
出張所 四倉町本町郵便局向金好跡
奥山庄作商店
本日より

支店 開業
從前通り御引立を願ふ
四倉新町(元日の出アト)
西洋御料理 カフェー ジ支店
君はい、型の洋服を求められたね。眺だね? いや君コレは例のソレ正札堂と
通場車停町平正 堂札正

